

## 開催趣意

将来の創薬研究への発展に寄与する学生・若手企業研究者が主体的に講演および活発な議論を行うことを目的とし、日本薬物動態学会 37 年会においても学生・若手企業研究者シンポジウム「The Predoctoral Researcher-Initiative Session (PRIS)2022」を開催致します。

昨年の PRIS2021 においては COVID19 の感染拡大に伴い、オンライン開催となりましたが、多くの方々にご参加頂き、盛会となりました。COVID19 の感染拡大以降、オンライン開催での学会が確立されつつある一方で、研究者間の対面での交流は自粛せざるを得えず、十分にコミュニケーションを取ることができる機会は減少しています。そこで、今年は 3 年ぶりのオンサイト開催を目指していることから、研究者間の繋がりを意識し、PRIS2022 のテーマを「若手研究者の相互研鑽による創薬イノベーションのさらなる発展」と致しました。若手研究者同士が互いに研鑽を深め合うことで、今後の創薬研究の発展に繋がるシンポジウムにしたいと考えております。また、昨年に引き続き若手企業研究者の方の応募も行いたいと考えておりますので、是非ご参加頂けると幸いです。

PRIS2022 で掲げたテーマに基づき選出された 5 名の博士号取得前の学生・若手企業研究者および薬物動態研究を最先端で牽引されている先生 1 名をお招きし、ご講演頂くことを予定しております。日本薬物動態学会は、国際学会との関連が強く、例年発表言語を英語としてきた中で、昨年は議論の活発化を図るために日本語で実施致しました。本年度も所属の枠を超えた幅広い分野からの議論を盛大に展開できる環境を整えるため、質疑応答の時間を 8 分間、言語を日本語に設定致しました。

本シンポジウムが、次世代を担う学生・若手企業研究者の今後の活躍につながる成長の場となることを期待しております。

最後に、活発な議論や交流に関心を寄せる学生・若手企業研究者ならびに薬物動態研究に貢献されてきた学会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

謹白

令和 4 年 2 月吉日

学生オーガナイザー

- ・金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 竹村 美由記
- ・高崎健康福祉大学大学院 薬学研究科 砂川 大樹
- ・東京大学大学院 薬学系研究科 東 一織